

第9回安佐市民病院跡地活用検討協議会議事録

1 日 時 平成28年10月27日(木) 午前10時00分～午前11時00分

2 場 所 安佐北区役所4階講堂

3 出席者(五十音順(市職員を除く)、敬称略)

岩重 守(安佐北区コミュニティ交流協議会副会長)

大島 正彦(安佐北区コミュニティ交流協議会会長)

尾田 豊機(安佐北区コミュニティ交流協議会副会長)

中平 吉子(安佐北区コミュニティ交流協議会副会長)

坊 聡彦(可部地域町内会自治会連絡協議会幹事)

松井 修(可部地域町内会自治会連絡協議会幹事)

向井 文武(安佐北区コミュニティ交流協議会副会長)

阪谷 幸春(広島市企画総務局企画調整部長)

木村 栄治(広島市安佐北区役所副区長)

4 議 事

「安佐市民病院跡地の活用策について(案)」について

5 議事内容 以下のとおり。

< 開 会 >

大島座長

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、ただ今から、「第9回安佐市民病院跡地活用検討協議会」を開会します。

皆さま方におかれましては、本日は御多用の中、当協議会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、御来場の議員の先生方、傍聴席の皆様方、報道機関の皆様方にも、多数の御来場をいただきましてありがとうございます。当協議会の関心の高さを痛感しているところであります。

当協議会も9回目を迎え、本日の協議会で最後として、まとめの会議としたいと思っています。

この間、8回に渡りまして会議を開催し、各委員から活発かつ真剣な議論をいただき取り組んでまいりました。

このことは、各委員が安佐北区に対しての強い思いがあるということの現れと思っています。

そして、今回の協議会が最後となりますが、皆さんの御協力に感謝申し上げます。

と言いながら一市議会議員の中から、議論が盛り上がってないとか、地域の声が反映されてないとか、あるいは個人的な意見が多いというような意見がありました。

協議会におきましては、逐次、議事録としてホームページに掲載しています。

そのことは皆さんもご存じだと思います。その中で、皆さんに活発に議論されてることを確認しています。

後程提案させていただきますが、安佐北区の将来を見据えて、人口減少が進行している中で、安佐北区をどのようなまちとしていったらいいかということが、この跡地活用検討協議会の中の一つの位置付けになるかと思えます。

そのことを踏まえて、本日は皆さんから十分な意見を出していただきまして最後のまとめにしていきたいと思えます。

委員の皆様には、協議会の最後に当協議会に対しての感想、あるいは私たちに対する思いを語っていただく機会を設けていますので、よろしくお願いします。

また、本日は市の企画総務局長にも来ていただいております、最後に御挨拶をいただくようにしていますので、よろしくお願いします。

それでは、早速ですが、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、お配りしています次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の議事は「安佐市民病院跡地の活用策について（案）」です。

前回の協議会などで、皆さんからいろんな御意見を出していただきました。

それらを踏まえ「安佐市民病院跡地の活用策について（案）」として意見を集約したものを事務局から提案していただいております。

また、「はじめに」という部分につきましては、前回の協議会で私と事務局に一任されています。そのことについても、話をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず「はじめに」の部分につきまして、座長であります私から説明させていただきます。

表紙の裏側に「はじめに」という部分があります。それを読み上げさせていただきます。そのあと、「安佐市民病院跡地活用策について（案）」の内容について事務局のほうから説明させていただきますので、よろしくお願いします。

（大島座長による「はじめに」の読上げ）

このような「はじめに」の文書を提案させていただきます。

これを踏まえて、「安佐市民病院跡地活用策について（案）」を事務局より説明させていただきます。

「はじめに」と「安佐市民病院跡地活用策について（案）」を説明ののちに皆さんから御意見をいただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

事務局 （「資料1「安佐市民病院跡地の活用策について（案）」について」説明）
（政策企画課）

大島座長 ありがとうございます。
前回提案していただきました素案をベースに、事務局から説明のありましたように同じような性格のものはまとめて5つの項目に整理したということになるかと思えます。そういう中で、今回の提案が出ています。
まず、事務局から説明のあった「安佐市民病院跡地の活用策について（案）」について皆さんの御意見を聴いて、その後に「はじめに」の部分に関する意見というように二つに分けて話を進めたいと思えますので、よろしくお願いします。
まず、「安佐市民病院跡地の活用策について（案）」について皆さんから御意見はありますか。
これまで8回の協議会を重ねて、今回まとめの提案でございますので、もし皆さんから御意見がなければ、この案で市に提案させていただくということとなりますが如何でしょうか。

松井委員 よろしいでしょうか。
10ページの「その他について」の部分で付記していただきたい点があります。

と言いますのは、病院機構から報告を受けました北館の余剰スペース、いわゆる2階、3階にありますリハビリ用の体育室と別棟の図書室については、跡地とは別に広く区民が活用できることを付記していただきたいと思えます。

せっかく病院機構の方から提案と言いますか活用できますという報告を受けましたので、非常にありがたく思っています。

これは将来に渡って付記していただかないと、あれはあれで終わりというように思っただけで終わってしまう可能性がありますので、せっかくの御提案をいただいていますので、広く区民のために活用されることをお願いしたいと思えます。

大島座長 今の御意見について事務局から何かございますか。

事務局 ただ今、松井委員から御意見のございました件ですが、留意点ではなく資料の7ページ「跡地活用の方向性」の部分を御覧いただきたいのですが、下から2段落目に「なお、その際には、病院機能の分化整備を行うに当たって北館で生じる余剰スペースが、5項目の施設・機能に活用できるかどうかについても、合わせて検証していただく必要がある。」ということで、一応こちらの部分、方向性の中で記載をさせていただいていますので、さらに留意点には書かなくてもよいのではないかと考えています。

大島座長 そういうことで、「跡地活用の方向性」の中の後半の「なお、その際には・・・」の部分にこちらが付記されているとの事務局からの説明でした。皆様もこのような文面でよろしいでしょうか。

松井委員 私が提案したように、もう少し具体性を持たせた文言にさせていただきたいと思えます。そうでないと、せっかく病院機構から提言というか方向性を見出していただいた言葉ですから、地域住民としてはそれを大事にしたいと思えます。このままでは曖昧性がありますので、お願いします。

大島座長 それでは、松井委員が言われました10ページの「(3) その他について」に付記するのではなく、この7ページの「なお、この際には・・・」というところをもう少し具体的な文面にするということですね。

松井委員 はい、よろしくお願いします。

大島座長 若干のそういう文言の修正につきましては、皆さんよろしければ私座長と事務局に一任していただけますでしょうか。

(各委員から了承の声)

それでは、こちらの案を承認いただければ、拍手を持ってお願いします。

(委員全員拍手)

ありがとうございました。

それでは、こちらの案が一部修正という形で承認いただきました。

続きまして、それを踏まえて、座長と事務局から提案しています「はじめに」について何かございましたらお願いします。

特に御意見がないようでしたら、こちらの件につきましても皆さんの拍手を持ってお願いします。

(委員全員拍手)

はい、ありがとうございました。

以上で、本日の議事については、終了いたしました。

続きまして冒頭申し上げましたように、この1年間かけて皆様方から貴重な意見を聴きながら、議論を重ねて本日の提案に至っています。
そのことを踏まえて、皆さんから一言、当協議会に対する感想、思い、あるいは安佐北区の将来についての意見をいただきたいと思います。
お聴きした内容について、非常に重要であるというものについては、また、市に提案させていただくということになるかと思えます。
それでは、時計回りに坊委員から順次お願いします。

坊 委 員

今日を含めて9回ということですが、いろいろ議論を重ねてまいりました。私は可部地域を代表して、松井委員と私と出席させていただきますが、我々は地域の各団体長にアンケートを行ったり、あるいはいろんな方々の意見を聴きながら、また可部地域の7学区の役員の方々と意見交換をしながら、この場に臨んできたと思っています。
したがって、一個人の意見が云々との批判を受けましたけれども、そのようなことは決してありませんし、地域の意見をここで発表させていただいたと自負しています。ただ、いろいろな考え方がありますので、どのようにしたらいいかと悩むこともありました。あまり事細かに決めることがいいとは思えなかったのですが、やはり今回のようなこういった形のほうが、ベターではなかったかなと思っています。
この「はじめに」の中に書かれている、「安佐、可部、高揚、白木の4地域の代表者が、旧町意識を改めて、安佐北区の将来を希望のあるまちにしよう。」というところが、非常に感動いたしましたし、このことがこの会議を持った大きな意義であったと思っています。非常にいい経験になりました。
今後ともよろしく願いいたします。

大島座長

ありがとうございました。それでは中平委員お願いします。

中平委員

感想をお話する前に、先日少し遠出をしたときに、子ども広場の写真を写してまいりました。こういう子ども広場ができたらいいなと思って撮ってきました。
私は、今回の委員は大変役が重かったのですが、とてもいい経験をさせていただきました。
幅広い区民の皆様の声が反映できたように思っています。
大変ありがとうございました。

大島座長

ありがとうございました。それでは尾田委員お願いします。

尾田委員

私は、安佐町を代表して、この協議会に出席させていただいていますけれども、今まで安佐町の住民からは安佐南区に編入してほしいという意見が非常に多かったわけです。
これは安佐北区民でありながら、可部への関心が薄い、道路にしてもいろんな施設にしても非常に不便だということから、そういった意見がございました。
この協議会を通じまして、安佐地域も安佐北区民であるということを皆さん方が実感していただきました。
また、行政もこうした新しい施設をつくることによって、安佐地域へのアクセス、その他の問題を10ページ書いていますが、そういったことにも目を向けていただきました。
安佐北区に住んでよかったというまちづくりを今後、住民も行政も一体となってやっていきたいと思えます。
以上で感想を終わります。ありがとうございました。

大島座長

ありがとうございました。それでは岩重委員お願いします。

- 岩重委員 白木は、4地区ありまして、地区の代表の方と会合を持ち跡地の活用についての検討会を行ってまいりました。
やはり安佐北区の可部町が賑わいと活力のある魅力のあるまちになってほしい、そのためには、しっかり利用する必要がある。そのために交通アクセス等を非常に改善していただくとともに、安佐北区が広島市の北の玄関というような重要な所在にあるということで、いろいろと白木の住民が利用できる、活用できる可部にしてほしいということで、産直市場や子育て用の施設など、皆さんが利用できるようにしてほしいとの意見があったことを提案させていただきました。
これも十分に踏まえて考えていただけると確信を持っています。
ありがとうございました。
- 大島座長 ありがとうございました。それでは松井委員お願いします。
- 松井委員 まず1点、一番大きなことは、安佐市民病院の現地建て替え派住民と、移転を求める住民同士が、ここに一同に会して、新しい時代に即した北館という医療機関ができると、その上で跡地の活用を十分に議論し合ったことが、大きな成果であったと思います。
ここに会する皆さんは、それぞれの思いで、安佐市民病院の移転を考えてこられたわけですが、跡地に対しても、さらに一歩進んで皆さんが、地域の皆さんの意見を反映しながら、この場において十分な協議を行ったことが、また大きな成果だと思えます。そして何よりもこうした住民同士が、和気あいあいと一つにまとまった、これからの時代を乗り切っていこうという意思統一ができたということと、行政の皆さんと一緒にやってそれに取り組んだ、この大きな成果は、これからの移転先の病院づくりとか、跡地のこれからの実現に向けた協議とか、北館に残される医療の整備についても、ますます地域の皆さんの声を反映しながら、行政の皆さんと一緒にやって取り組めるという形ができたということが本当にありがたく思いました。
皆さんの御努力に本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 大島座長 ありがとうございました。それでは向井委員お願いします。
- 向井委員 私は高陽の代表として、ここへ来させてもらっています。
高陽地域には9つの自治会・連合会があり、その幹部の方や地域の声を聴いてもらいたいというようなことから、この跡地活用については、随分たくさんの方の要望が出ました。
なかなかまとまらない中から、高陽地域にありますコミ協を通じて、若い人の意見を聞いてみようということでそういう意見を集約して、12項目の中から、何がいいのかということで提案をさせていただき、それを取り上げてもらって、今日に至ったという経緯を非常にありがたく思っています。
この高陽から見た可部ということになってきますと、人口が可部よりも高陽の方が多い中において、やはり可部が中心になってきていると。
もう一つの欠点は、高陽と可部とのアクセスが非常に悪いということの解決をとというようなことから、やはり子育てが一番だという結論が高陽からは出たわけです。
どれもこれも欲しいということであっても、やはり何らかの形で、4町が本当に一体となった施設になればいいのではないかという意見の中で、うまく取りまとめができたのではないかと考えています。
- 大島座長 ありがとうございました。では、阪谷委員お願いします。
- 阪谷委員 本日は私の上司の岡村が参っております、後程、市としての御礼と御挨拶をしっかりとさせていただきますけれども、改めまして、この一年間に渡って、真剣な御議論いただきまして、本当にありがとうございました。

地域のまちづくりの中心的な役割を担っていただいている皆様に、建設的な議論をいただき、このような形でまとめることができたと思っています。

そして、一つお願いは、こうした議論の過程を地域に持って帰っていただいて、フィードバックしていただきたいということです。

今後も跡地活用については、地域の皆様とそして我々行政が一体となって進めてまいりたいと思っていますので、また御支援、御協力をいただければと思っています。そして私ども、委員の皆様の熱い思い、あるいは地域の皆様の熱い思いをしっかりと受け止めさせていただいて、市としての活用方策を検討し、そして何れかの時点で、皆様にきちんと御説明したいと考えておりますので、よろしくお願います。

本当に一年間、ありがとうございました。

大島座長

ありがとうございました。それでは木村委員お願いします。

木村委員

コミ協の正副会長、可部地区の会長が同じテーマでこういう形で議論されて大変有意義だったと考えています。

区役所としましては、跡地の活用によって、可部地域だけではなく、安佐北区全体が活性化をして、冒頭ありましたように人口減少に少しでも歯止めがかかればと大変期待をしています。

区としてもこのプランを実現に結び付けていくため、頑張っていけないといけないと改めて感じている次第であります。

本当に一年間ありがとうございました。ご苦労様でした。

大島座長

ありがとうございました。

それでは私も委員になりますので、座長として皆さん方に感謝しつつ一言述べさせていただきます。

昨年12月3日に第1回の安佐市民病院跡地活用検討協議会の会議が開かれました。その席で当会の座長に推されたわけです。

先ほど承認いただきました、「安佐市民病院跡地活用策について」の報告書を皆さんの協力をおもちゃして、まとめることができました。

後程この件は皆さんに諮らせていただきますが、この案を松井市長に提案させていただくことになると思います。

皆さんの御協力に感謝申し上げます。

当初、この安佐市民病院跡地活用策につきましては、一つは、安佐市民病院の跡地活用をどのような賑わいのまちにするかというようなことが一つの大きな指針ではなかったかと思っています。そしてもう一つは、可部地区から提言書を出しています。それを基準として、皆さんに御議論いただきたいというこの2つをもって、1回目から議論を重ねてきたと思います。

安佐北区は先ほどからありますように、旧4町があり、地域も広く地域性もあることから、何を基準にして話を進めていったらいいかということがありました。

今委員の皆さんから、各4町のいろんな特色のあることを述べていただいたということが、この跡地活用策に反映できたと思っています。

委員の方々も今回の理念といいますか、それを十分に理解していただきまして、安佐北区が住んでみたいまち、住んでよかったまちということを推進していくために、アンケートを行ったり、いろいろ会合を開いていただいて、この会議に臨んでいただきましたことを非常に感謝申し上げます。

今後、安佐市民病院の跡地活用策を十分、行政のほうに反映していただくということが、大事になってくると思っています。

先ほど坊委員からもありましたけれども、従来、旧4町がまとまりにくかったものが、この共通の跡地活用をどうしていくかという中で、まとまりができたということは、今後の安佐北区においては非常に重要なことではなかったかと思っています。

我々が住民の出された意見の一つ一つを実施していく中で、やはり地域の住民の代表

である議員の先生方には、フォローしていく、あるいは支援していただくのが本来の任務だと私は思っています。

本協議会においては、逆の動きが多少なりともあったということは残念でした。

今後、今日まとめていただきました案を行政に出します。その際には、十分側面から、あるいは全面的にバックアップしていただいて、安佐北区にこういうものを作ってよかったというような施設をぜひ作り上げていただきたいと思います。

今回、委員の他、たくさんの方に意見をいただきました。皆さん方に出会えて、議論させていただいたということは、私にとって非常にうれしいことであります。

今回の提言書をまとめましたことについて、皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

それでは、今の皆さんの意見、それから「はじめに」と「安佐市民病院跡地の活用策について」を委員全員で、広島市の松井市長に提案したいと思いますが、いかかでしょうか。

(各委員から了承の声)

それでは、その段取りを事務局をお願いします。

事務局 承知しました。

大島座長 ではそういうことで、先ほど御意見のあった若干の文言の修正は、座長と事務局に一任ということになっていますので、市長に提案するものは、事前に皆さんにお配りして見ていただいて、大体の日程が決まりましたらお知らせしますので、よろしく願います。

それでは、最後になりますが、本日大変お忙しい中、広島市の企画総務局長の岡村局長様に来ていただいています。一言挨拶をお願いいたします。

岡村局長 企画総務局長の岡村でございます。
このたび安佐市民病院跡地活用検討協議会の報告書を取りまとめていただいたことにつきまして、御礼の言葉を申し上げたいと思います。

皆様におかれましては、大変御多忙の折、1年に渡りまして活用策を検討していただきました。また、皆様には、日頃から本市行政に一方ならぬお力添えをいただいております。深く感謝申し上げます。

昨年12月の最初の協議会に私も出席させていただきましたが、この協議会につきましては、安佐市民病院跡地の活用策をどうするかということについて、地域の御意見をしっかりと取り入れて、地域の皆さんの納得度の高いものに仕上げたいという思いで設置させていただいたものでございます。

これまでの検討の中では、そうした趣旨に沿って、委員の皆様自らが各地域に出向かれて、地域の御意見を吸い上げていただきました。

また、この協議会の中で若い世代の方の御意見を聞く必要があるのではないかということでアンケートも行っていただきました。

地域の意見を反映するという協議会の趣旨に沿った報告書をまとめていただくことができたと思っております。

また、この報告書の「はじめに」の部分にもございましたが、安佐北区が人口減少という大きな波に打ち克つためにはどうするべきかといった問題認識に立って、この協議会では、例えばアクセス道路をどうするのか、あるいはバス路線をどうするのか、あるいは安佐北区民文化センター・図書館の建替え時期をどう考えるかなど、跡地に限らず、安佐北区全体を見渡した幅広い視点に立った御議論をいただいたと思っています。

委員の皆様方には、日頃から「自分たちのまちは自分たちで創る」という認識の下で、地域のまちづくり活動をリードしていただいておりますが、この協議会でも、そういった高い意識の下に議論を進めていただきました。

地域の皆様と行政が連携をしながら、まちづくりを進めていくという今回の協議会のプロセスは、そういったまちづくりの一つのモデルケース、模範となるような形を示していただいたのではないかと思います。

この報告書で、5つの項目、施設・機能の導入について取りまとめていただきましたが、この点につきましてはしっかりと受けとめさせていただきます。

その上で、報告書にもお示しいただいていますように、行政のほうでも着実に検証作業を行なわせていただきます。

そして、この報告書に託していただきました皆様の思いに着実に応えていけるような市としての活用方策を取りまとめ、確実にこの跡地活用を実現していきたいと思います。

それが安佐北区をさらに活性化させていくことにつながっていくものと思っています。

最後に、委員の皆様のご献身的な努力に敬意を表させていただくとともに、重ねて深く感謝申し上げます。私の御挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

大島座長

ありがとうございました。

以上をもちまして、本日予定しています、全ての議事を終わらせていただきます。事務局から何か連絡事項等ございますか。

事務局

本当に約1年間ありがとうございました。

その間、事務局といたしましても、不手際等があったかとは思いますが、皆様には円滑な協議会運営に御協力いただき誠にありがとうございました。

先ほど座長からございましたように、市長への提出につきましては、今後調整の上、御連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上になります。ありがとうございました。

大島座長

ありがとうございました。

本日の議事につきましては、これにて終わらせていただきます。

先ほど言いましたように、まとめたものを市長に提案するという事になると思います。約一年間に渡って長期間、ありがとうございました。

皆様のおかげをもちましてですね、この日もスムーズにいきまして、まとめることができましたことを感謝申し上げます。

それでは、これにて安佐市民病院跡地活用検討協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

< 閉会 >